

(報道関係資料)

2022年11月11日

JPR 日本パレットレンタル株式会社

JPR、「きっと誰かに話したくなる 物流パレットの話」を公開
11月12日「パレットの日」にレンタルパレットの認知向上を目的に

物流用パレットのレンタルサービス最大手、日本パレットレンタル株式会社(東京都千代田区 代表取締役社長 加納尚美 以下、JPR)は、11月12日が、一般社団法人日本パレット協会が制定する「パレットの日」であることにちなみ、物流のプロフェッショナルではない幅広い方々に向けた『きっと誰かに話したくなる 物流パレットの話』を制作しました。



▼『きっと誰かに話したくなる 物流パレットの話』ダウンロード URL

https://www.jpr.co.jp/release/20221111_01_jpr_Pamphlet_pday.pdf

▼とてつもなくニッチなパレットという道具。その意外な身近さをお伝えしたい！

日々の生活に欠かせない商品が届く一。

そんな当たり前の背景にある物流に対する社会の関心が高まっています。また、多くの企業が、持続可能な物流の構築を経営課題の一つとして掲げています。

物流業界は、いま、労働力不足への対策や、環境負荷の軽減などの課題に直面しており、その解決策としてパレットというシンプルな道具にこれまでになく注目が集まっています。

パレットというとてつもなくニッチな道具と、日常の暮らしや仕事の間には何の関係もなさそうですが、実は深いところにつながっています。『きっと誰かに話したくなる 物流パレットの話』は、普段パレットになじみのない方々にお読みいただきたい冊子です。

▼主な内容

- ・ パレットとは何か
- ・ 一貫パレチゼーションという考え方
- ・ 「2024年問題」とパレット
- ・ 環境とパレット

きっと誰かに話したくなる

物流パレットの話

日本パレットレンタル株式会社広報部
Copyright © 2022 JPR. All Rights Reserved.

多数の企業のつながりによって商品が届いているということ

イメージしていただきたいことがあります。それは、物流がたくさん企業のつながりでできている、ということです。

例えば、私たちが手にする食品や日用品といった商品の多くは、製造業の工場、倉庫から卸売業や小売業の物流センターを経て届いています。

そこには物流事業者を含む多数の企業が関わっています。パレットについての課題を考える際、多数の企業のつながり全体を考慮する必要があります。

私たちの手元に商品が届くのは多数の企業のつながりてきた物流があるから

パレットは物流を効率化する

パレットに商品をお載せユニット化し、フォークリフトなどで扱うことで、作業のスピードが上がります。同時に、物流に携わる人にかかる負担も軽減されます。

パレット1枚の倍の向上

■出荷	2分49秒
パレット	1分5秒
■入荷	3分35秒
パレット	30秒

▼お勧めしたい方

このような方に向けて制作しています。

- ・ 職場で物流に関する話題に触れる機会が増えている方
- ・ 転職や異動で物流に関りを持つようになった方
- ・ 物流について学ぼうとしている学生の方
- ・ 物流業界のトピックスをお探しのメディアの方

▼パレットの日とは

一般社団法人日本パレット協会は11月12日を「パレットの日」として、パレットの認知向上に取り組んでいます。JPRは日本パレット協会に加盟しております。

「パレットの日」についてはこちらもご参照ください。

一般社団法人日本パレット協会 (<https://www.jpa-pallet.or.jp/>)

note JPR 広報部の記事 (https://note.com/jpr_pr/n/n4e593846ad83)

▼一般の方に向けたパレット認知向上のための JPR の取り組み

JPR では、広くパレットについて知っていただくことや、次代を担う人材に関心をお持ちいただくことを目的に、加盟する業界団体の活動を通じて、あるいは JPR 独自の活動として、大学等でパレットに関する講義や講演を行っています。

